

さがみロボット産業特区 ーロボットで支える県民のいのちー

さがみロボット産業特区とは

さがみ縦貫道路沿線の10市2町※1を対象区域として、地域活性化総合特区に指定されている「さがみロボット産業特区」では、「生活支援ロボットの実用化や普及・活用」に取り組んでいます。

2013年2月に指定を受け、第1期、第2期の活動を経て、2023年4月から新たな5ヵ年計画「第3期計画（2023～2027年度）」が始まりました。これまでの

成果をさらに発展させ、「ロボットと共生する社会」の実現を目指しています。県は特区内の市町や関係機関とより一層連携を深め、人生100歳時代を迎えた県民の「いのち」を輝かせるための取り組みを加速させていきます。

※1 相模原市、平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、綾瀬市、寒川町、愛川町

介護ロボットの導入・改良支援

2024年度からは、人手不足等の介護事業所の課題を解決するため、介護に適したロボットの試験導入及び効果検証を行っています。また、検証結果を分析することで、実用化に向けた改善を行い、開発を促進しています。この事業によって、介護事業所は介護ロボット

コンサルタントによる課題の洗い出しや整理を行ったうえで、ロボットを試験導入できます。また、ロボット開発企業には、介護事業所の課題解決のための改良支援を県が行っています。

ロボット実装促進センターによるワンストップ支援

ロボット実装促進センターでは、施設へのロボットの実装をワンストップで支援し、現場ニーズに合う開発・改良も支援しています。例えば施設向けには、業務効率化や人手不足などの課題解決のため、デジタル化

の相談から国や県の補助金利用の事前相談も無料で行っています。ロボット開発企業向けには、県内中小企業と連携し、県内産業の振興に資するロボット開発プロジェクトに対して経費面の支援等も行っています。

ロボット企業交流拠点の設置

2024年、県は新たにロボット企業交流拠点を2ヵ所開設しました。この拠点は、ロボット産業に関わる企業同士の交流や来場者向けのロボット体験イベントを行う施設で、特に藤沢の「ロボリンク」には常設ショールームがあり、生活支援ロボットを一般の皆さまも無料で体験できます。また、商談会や専門家等によるセミナーも随時開催しています。

FUN+TECH LABO※2
(相模原市橋本駅近隣)



ロボリンク
(藤沢市藤沢駅近隣)



神奈川県では、ロボット産業への参入から普及までの各段階に対して様々な支援事業を行っています。こうした取組を通じて、県内中小企業のロボット産業への

参入促進とロボットの普及による好循環を作り上げ、地域経済の活性化を目指しています。



特区事業の詳細ページ

※2 「FUN+TECH LABO」という名称は、東海旅客鉄道株式会社（JR東海）の登録商標です。